

小規模多機能型居宅介護施設 きやま虹の家「サービス評価」 総括表

法人名	若狭町社会福祉協議会	代表者	山崎 和男	法人・事業所の特徴	若狭町初の「民家を改修した小規模多機能ホーム」であり、利用者さんには住み慣れた自分の家と同じような感覚で過ごして頂くことができる。また、常勤の正看護師が配置されており、機能訓練や褥瘡予防、体調管理等の助言などにも力を入れている。また、地域の方には以前からのご近所づきあいのように、とれたての季節野菜、果物等の差し入れがあったり、そのいただいた収穫物で作ったお菓子でお礼をするなど、温かい交流を続けている。
事業所名	小規模多機能ホーム きやま虹の家	管理者	橋本 朋美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	1人	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	内部評価と外部評価の項目について、説明文を入れる。 利用者情報カードを活用し、すべての利用者様にスタッフ皆で目を向けて生きがい作りを探し、旬の野菜を作り、調理をしたり、手作業を取り入れた行事を行い、その役割を通して、生活機能の向上を図る。 利用者様の気持ちやペースに合わせた、その人らしい、心地よい日常生活の支援をしていく。 内部研修・外部研修を充実させ、各職員が自己研鑽に努める。	利用者情報カードは活用できており、個々の利用者様に個別に目を向けることが出来た。 続けて新規の利用者様が上がってくる場合、利用者情報カードの作成が遅れた。 利用者様それぞれに合ったことをしていただき、ミーティング等で活動内容を共有できた。 縫い物・脳トレ・調理等、個々にその方のしたい事、向いている事をストレスのかからないように配慮しながら活動してもらえた。	前回の改善計画の評価をされ、改善点を出しているのが良い。 事業所の自己評価を作成する際に、外部の者が確認できていないのでわからない。 その点も積極的に関わっていかなければいけないと思った。	利用者情報カードの作成や見直しを行い、その人らしい支援につなげるようにする。 本人・家族さんの必要としている支援ができるよう、不安を受け止め、関係づくりのための配慮をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も地域や小学校にチラシを配布し、地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行う。 地域の住民の方々にも気軽に立ち寄ってもらえる事業所の雰囲気を作る。	「虹の家だより」を全戸配布し、「夏休み・春休み企画」のチラシを小学校に配布し、積極的に地域と関わった。	広報も出されているので、認知度はある。 「夏休み・春休み企画」は好評。	今後も「虹の家だより」や「夏休み・春休み企画」で、積極的に地域に根差した活動を行っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>積極的に職員の勤務を調整し、地域の活動やイベント・会議に参加する。 利用を中止されたあとも、積極的に声掛けし、関係が切れないようにしていく。 イベントを企画し、地域の方々に協力や参加を呼び掛ける。</p>	<p>ながしそめんや感謝祭を企画し、地域の方々に協力や参加を呼び掛け、たくさんの方々の協力をいただいた。 職員の勤務を調整し、地域の活動やイベント・会議に参加できた。</p>	<p>・職員が地域の行事に参加する事で、コミュニケーションの幅も広がっている。</p>	<p>今後も、積極的に職員の勤務を調整し、地域の活動やイベント・会議に参加する。 地域の方々も、参加・協力いただけるイベントを企画する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>今の状況を継続し、地域を巻き込んだ、柔軟な支援をしていきたい。 必要に応じて各関係機関と連携する。</p>	<p>地域との関係が途切れない、柔軟な支援ができた。</p>	<p>敬老会や小学校行事に参加するなど、地域と密接にかかわっている。</p>	<p>引き続き、地域との関係が途切れない、柔軟な支援をしていきたい。 必要に応じて各関係機関と連携する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>4月から第三水曜日に地域の方にも協力いただき、カフェを開く。 委員さんと情報を出し合い、共有し、地域の気になる方々が地域の力を借りることが出来るようにしたり、虹の家などの介護サービスの利用につながるようにする。</p>	<p>前回の会議で話題に上がった、カフェを、今年度は開催できた。 おやつ作りなど、地域の方にも協力いただいた。</p>	<p>「地域の心配な方の事例検討が行われているか」については、守秘義務があり難しい。 『虹の家を利用するようになって、利用者の表情が明るくなった』というのも、意見交換になる。それが事例検討につながっているのではないかな？</p>	<p>今後も、「にじカフェ」を定着させる。運営推進委員さんと情報を出し合い、共有する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練に参加する。また、事業所独自の防災訓練も行う。</p>	<p>地域の防災訓練に参加できた。 事業所独自の防災訓練に運営推進委員の方にも声掛けし参加いただけた。</p>	<p>「事業所の防災計画」についてはわからない。 今年は地区の防災訓練と若狭町の防災訓練が重なり大がかりな物となった。虹の家の職員も参加されていた。</p>	<p>次年度も、地域の防災訓練に参加する。また、事業所独自の防災訓練も行い、運営推進委員の方にも声掛けする。</p>